

ミャンマー国軍「麒麟の代替、容易にみつける」

2022/2/15 19:00 | 日本経済新聞 電子版



ヤンゴン近郊にあるミャンマー・ブルワリーの工場(2021年1月)

【ヤンゴン=新田裕一】ミャンマー国軍は15日、[麒麟ホールディングス](#)(HD)が国軍系企業とのビール合弁事業からの撤退を発表したことを巡り、「ビール事業においては代替の投資家を見つけるのは容易だ」とする投資・対外経済関係省のコメントを発表した。

麒麟HDは14日、国軍系企業のミャンマー・エコノミック・ホールディングスと合弁で手掛けるミャンマー・ブルワリーなど2社の全株式を6月末までに手放すと発表した。国軍当局は、麒麟HDの発表について「株式の譲渡先などの詳細は伝えられていない」とした。

「ミャンマー・ブルワリーは投資委員会の認可を受けて営業しており、持ち分の譲渡には同委員会の許可が必要になる」とも指摘した。

【関連記事】

- ・[麒麟HD、ミャンマー撤退へ 国軍系企業と交渉難航で](#)
- ・[ミャンマー、外資企業はなぜ撤退？](#)

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.